

「栃木県ケアラー支援推進計画（仮称）」の 骨子（案）について

栃木県ケアラー支援推進計画(仮称)の骨子(案)

目指す姿	全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく、安心して生活することができる地域社会の実現(§1)
基本理念	<div>➤ ケアラー支援は、ケアラー（ヤングケアラーを含む。）の意思を尊重するとともに、置かれている状況等に応じて行う。</div> <div>➤ 県、市町村、県民、事業者、関係機関、支援団体等の多様な主体が相互に連携を図りながら、ケアラーを社会全体で支えるよう取組を推進。</div>
現状・課題	<div>➤ 本県における要介護・要支援者、身体・療育・精神障害者手帳所持者、特定医療費（指定難病）受給者など、ケアを必要とする人の数は増加傾向であり、ケアを行う人も相当数存在</div> <div>➤ 国において、次期介護保険事業（支援）計画の基本指針（案）に、「全世代型社会保障の構築を進める観点から、ヤングケアラーも含めた家庭における介護の負担軽減のための取組を進めることが重要である。」と明記</div> <div>➤ ケアラーは、健康上の不安、経済的不安など様々な心配事を抱えている</div>

栃木県ケアラー支援条例において各者に期待される取組等	ケアラー、ヤングケアラー実態調査結果	計画期間
<div>1. ケアラー支援に関する施策を実施するに当たっては、県は、市町村、県民、事業者、関係機関、支援団体等と相互に連携を図る(§4①)。</div> <div>2. 県民、事業者、関係機関は、ケアラー支援の必要性についての理解を深めるよう努める (§6～8)。</div> <div>3. 関係機関は、ケアラーに対し、情報提供や他の関係機関への取り次ぎ等必要な支援を行うよう努める (§8③)</div>	<div>1. ケアラーの現状</div> <div>2. ケアに関する悩み</div> <div>3. ケアラーが求める事項</div> <div>4. 相談支援機関等の対応状況</div> <div>5. ヤングケアラーの状況</div> <div>等</div>	<div>地域福祉支援計画に合わせ 6年</div> <div>※第1期計画はR6～R8の 3年を想定</div>

ケアラー支援の3つの柱と基盤となる人材の育成

<div>I 普及啓発等の促進</div> <div>普及啓発、理解促進 (§11)</div> <div>ケアラーの早期発見 (§14)</div>	<div>II 相談・支援体制の充実</div> <div>相談しやすい環境の整備に向けて (§14)</div>	<div>III 関係機関等の連携強化</div> <div>市町、県民、事業者、関係機関、支援団体等の連携強化 (§4)</div>
IV 人材の育成及び確保 (§12)		

4つの施策別の主な取組内容

構成は今後変更となる場合がある

I 普及啓発等の促進

普及啓発、理解促進 (§11)

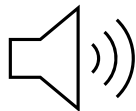
ケアラー支援の必要性等について、県民、事業者、関係機関、支援団体等の理解と関心を深め、社会全体でケアラーを支える気運を醸成

- (1) ケアラーに関する県民等への理解の促進
- (2) 関係機関におけるケアラー支援の必要性の意識の醸成
- (3) 高齢、障害、難病などに関する正しい知識の普及啓発
- (4) 権利や意識に関する啓発

ケアラーの早期発見 (§14)

支援を必要とするケアラーの早期発見・把握の促進

- (1) ケアラーにおける自覚と自発的な相談の促進
- (2) 市町や相談支援機関など、ケアラー支援に関係する機関の職員に対する研修等の実施
- (3) 各種コーディネーター等の養成

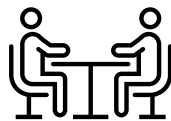


II 相談・支援体制の充実

相談しやすい環境の整備に向けて (§14)

支援を必要とするケアラーを早期に発見されるよう、公的サービスや相談窓口の活用を図るとともに、市町、関係機関及び支援団体等が緊密な連携の下、ケアラーが相談しやすい環境を整備

- (1) 多様な相談支援体制の充実に向けた支援
- (2) 市町における包括的な支援体制整備に向けた取組への支援（重層的支援体制整備事業の活用促進等）
- (3) ケアラー同士が交流できる場の充実

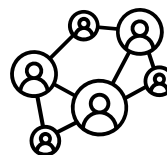


III 関係機関等の連携強化

市町、県民、事業者、関係機関、支援団体等の連携強化 (§4)

複合的な課題を抱えるケアラーに必要な支援を迅速かつ適切につなぐことができるよう、ケアラー支援に関わる多様な関係機関の連携を強化

- (1) 各種コーディネーター等の養成【再掲】
- (2) 複数機関の職員が参加する研修会やセミナーの開催等
- (3) 市町における包括的な支援体制整備に向けた取組への支援（重層的支援体制整備事業の活用促進等）【再掲】



IV 人材の育成及び確保 (§12)

ケアラー支援の視点も取り入れた相談、助言、日常生活の支援等を担う人材の育成

- (1) 福祉サービス事業所などの身近な関係機関の職員に対する研修等の実施
- (2) 市町や相談支援機関など、ケアラー支援に関係する機関の職員に対する研修等の実施【再掲】
- (3) 各種コーディネーター等の養成【再掲】

